



### 第37回県下中学生弁論大会

## 浅川鮎子さん(2年)優勝

### 地区代表17人が競う

県警察本部と県交通安全協会主催の第37回山梨県中学生交通安全弁論大会は、十月十二日(休)甲府市宝一丁目ニュー機山で開かれました。

大会では、県下十五地区での予選を勝ち抜いてきた中学生十七人が、交通安全の提言など熱弁を振りかざし、強い感銘を与えました。

審査の結果、「ゆとり」の心で交通戦争に終戦を」と題して訴えた泉中学校二年生浅川鮎子さんが優勝し、山梨県知事賞を受賞しました。

準優勝は僅差で韮崎西中学校三年島村葵子さん、熱弁を振るう地区代表の中学生弁士

続いて大和中二年窪夏希さん、東中二年寺田奈津美さんでした。(優勝者の弁論全文は、新年号に掲載予定)

二輪車指導員が熱心に学習

原付等講習制度導入で県二輪車安全運転推進委員会(酒井澄男委員長)では、十月二十九日(日)、八田村の運転免許センターで二輪車安全運転指導員の講習会を開きました。

この講習会は、指導員の指導力を高めるために毎年一回行われているもので、当日は九十人が参加して、新たに導入されることになった「原付等講習」(原付免許既得者の講習)の指導要領を中

心に、運転免許課八代講習指導官等を講師として学習しました。

高齢者向けビデオ

病院待合室で活用

県交通安全協会(志村哲良会長)では、県警交通企画課の指導のもと、高齢者の交通事故防止を

図るため高齢者向け啓発用ビデオ七本、小冊子一万五千部を作成し、県医師会のご協力を得て、十一月二十二日からビデオの上映と小冊子の配布を行っています。

病院で上映してもらったビデオ「お年寄りの愉快な交通安全」等の七種類で一カ月程度で交換していくことにしています。

また、小冊子は作成した一万五千部のうち一万部を各安協に配布し、高齢者宅の訪問指導時に手渡すことにしています。

「道路の正しい渡り方」の講話、幅員六メートルの模倣道路の「横断所要時間の計測」等が行われ、また、配備されたシートベルト着用体験車の試乗をしてシートベルト着用の必要性を体験から学びとっていただきました。

小笠原安協

小笠原交通安全協会(松田良一会長)では、櫛形老壮大学で交通安全教室を開いて高齢者の交通事故防止を図りました。

好評の反射材即売会

南甲府交通安全協会(鷹野正慈会長)の婦人部(岡美恵子部長)では、甲府市内の小瀬スポーツ公園で開催された九月九日(日)の「いきいき山梨ねんりんピック」と九月二十四日(日)の「交通安全体験フェア」の会場へ、反射材の展示即売所を出し

「道路の正しい渡り方」の講話、幅員六メートルの模倣道路の「横断所要時間の計測」等が行われ、また、配備されたシートベルト着用体験車の試乗をしてシートベルト着用の必要性を体験から学びとっていただきました。

南甲府交通安全協会(鷹野正慈会長)の婦人部(岡美恵子部長)では、甲府市内の小瀬スポーツ公園で開催された九月九日(日)の「いきいき山梨ねんりんピック」と九月二十四日(日)の「交通安全体験フェア」の会場へ、反射材の展示即売所を出し

「もしも」に備えた災害補償付反射材

全国に先駆けて来年一月から発売

県交通安全協会では、夜間の交通事故を少しでも減らそうと、県下各交通安全協会の皆様のご協力を得て、全日本交通安全協会幹旋の反射材の個別販売をしていますが、全国に先駆けて、来年一月から「もしも」の時には見舞金が支払われる「災害補償付反射材」を新たに発売することにいたしました。

この「災害補償付反射材」は、反射材の代金に若干の負担金(二百円未満)を上乗せした金額でお買いになれば、着用を指定された人が、歩行者または、自転車利用者として交通事故に遭ったときに、受傷内容によって一定の見舞金が支払われるというものです。

交通事故は、購入後一年以内の事故で、請求できる期間は、交通事故が発生してから二年以内です。

詳細は、県安協事務局(県民会館二階)または各地区安協事務局(警察署内)へお問い合わせください。

## 地区だより

### 秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動は、九月十一日から三十日までの十日間行われました。

各地区安協では、工夫をこらした多彩な行事を繰りひろげましたので、その一端をご紹介します。

期間中の県内での交通事故発生状況は、五十三件(前年同期比四十件減)、死者一人(一人増)、傷者七十一人(五十七人減)でした。



甲府駅で交通安全を訴える(甲府)



街頭指導所の開所式(県対室)



シートベルトコンペンサーの活用(小笠原)



ミニ看板で着用を訴える(南甲府)



幼稚園児のマーチングバンドを先頭に(南部)



事故多发交差点で交通指導(飯沢)



いざ街頭指導に出陣(石和)



シートベルト着用効果の実験(市川)



交通安全短冊付の風船を放つ園児たち(富士吉田)



集団検診所へ「おしかけ交通安全」(日下部)

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、十月十五日(日)市川警察署の前庭で、交通安全バザーと反射材の展示即売を行いました。

バザーでは、安協役員が品物を持ち寄って廉価で販売し、売上げ金を交通安全活動に使うものとするので、この日の売上げ金は三十四万円にも達しました。

また、同じ会場に反射材の展示即売所を設けて普及にあたりました。

秋の交通安全運動などを協議

県安協理事會

県交通安全協会(志村哲良会長)は、九月五日(火)、甲府市内ニュー機山

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、十月十五日(日)市川警察署の前庭で、交通安全バザーと反射材の展示即売を行いました。

バザーでは、安協役員が品物を持ち寄って廉価で販売し、売上げ金を交通安全活動に使うものとするので、この日の売上げ金は三十四万円にも達しました。

また、同じ会場に反射材の展示即売所を設けて普及にあたりました。

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、十月十五日(日)市川警察署の前庭で、交通安全バザーと反射材の展示即売を行いました。

バザーでは、安協役員が品物を持ち寄って廉価で販売し、売上げ金を交通安全活動に使うものとするので、この日の売上げ金は三十四万円にも達しました。

また、同じ会場に反射材の展示即売所を設けて普及にあたりました。

お知らせ!!

毎年秋に行っていました表彰式は、平成七年度から、年明けの一月二十三日に県民会館で「平成八年交通安全推進県民大会(仮称)」を開き、その席上で行うことになりました。

八田村の山梨県安全運転学校で運転免許の更新を予定されている方は、年末年始は大変混雑します。特に一月四日は日曜日の倍以上の大混雑となりますので避けてください。

体験装置を最大限に活用することを確認しました。

また、原付自転車の事故防止のために、警察庁が新施策として打ち出した原付免許既得者の実技講習については、受講希望者を募って県二輪車安全運転推進委員会を中心とする。



県安協・理事会